

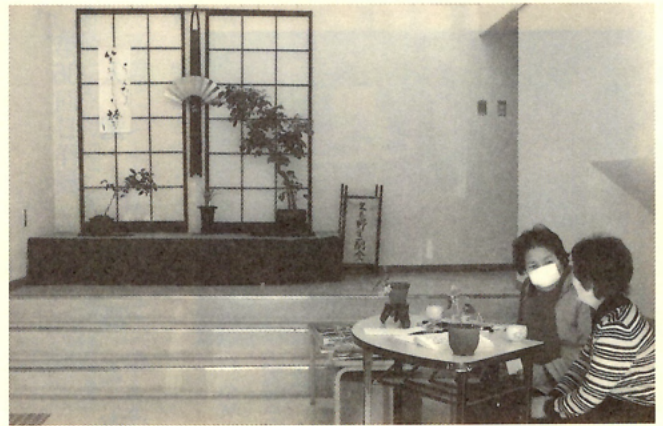
第32号

# 文連だより

編集発行／久喜市久喜文化団体連合会



久喜市写真連盟



和の花会



久喜市民吹奏楽団



久喜・中島敦の会

いあいさつ



久喜文化団体連合会 会長  
成田 寿苑

三年に亘る新型コロナウイルス感染症という未曾有のパンデミックの中、様々な制約があり、各団体の活動も大変な状況ではありましたが、各々の工夫と努力により少しずつ明るいきざしが見えてきました。当連合会も、本年度事業として、新井病院 院長 関谷栄先生による「高齢化社会をかしこく生きる」と題しての講演会を九月四日に開催致しました。

たくさんの賢く生きるヒントを頂き大好評でした。又昨年は、台風や豪雨などの自然災害、一方ではロシアのウクライナ侵略・・・又北朝鮮のミサイル発射。物価の上昇は、非常事態ともいうべき現状です。

難問や変化の時代の風をうまく、受け止め、私達は、楽しく、仲よく健康で過してゆけたら幸せと思います。何よりも大切なのは「人と人とのつながり」と思います。文化団体事業の活動は会員一人一人の大きな生きる力になっていきたいと思います。

会員の皆様のご活躍、ご健勝を、ご祈念申しあげましてご挨拶とさせていただきます。

令和4年度 会員の活躍

○改組第9回日展(書)

入選 須藤 恵里

○第73回毎日展

秀作賞 春山 千華  
佳作 町田 扇祥

○第50回日本の書展

招待 成田 寿苑  
菅谷 志水

○第65回埼玉書道展

特別祈念賞 森 照芳  
秀作 小林 勝苑

○第70回記念埼玉県美術展

第1部 日本画

委嘱 折口 裕美  
齊藤 博由  
運営委員 斉藤 康

第2部 洋画

入選 奈良 智子

第3部 彫刻

審査員 齋藤 由加  
運営委員 齋藤 馨

第4部 工芸

入選 岡野 美智代

第5部 書道

入選 高田 隆水

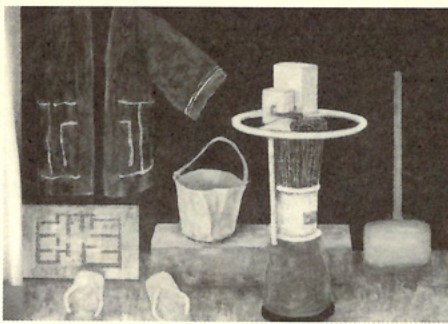
招待 山崎 隆光  
鈴木 恵水  
春山 千華  
成田 寿苑  
新井 文香  
菅谷 志水

○第106回二科展

(絵画・工芸) 野口 一夫

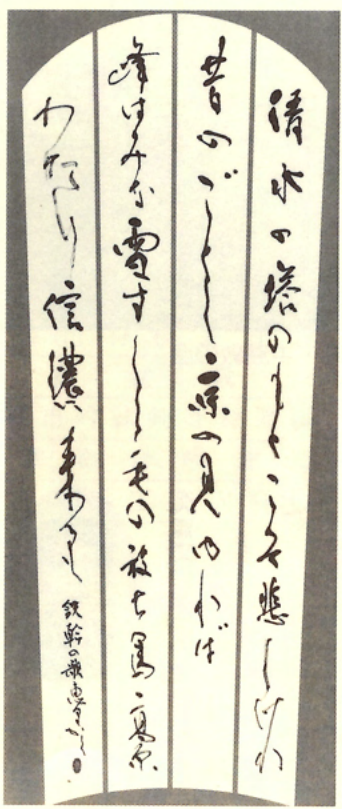
○第36回日洋展

入選 尾島 正市



絵画「ランマー」 尾島正市

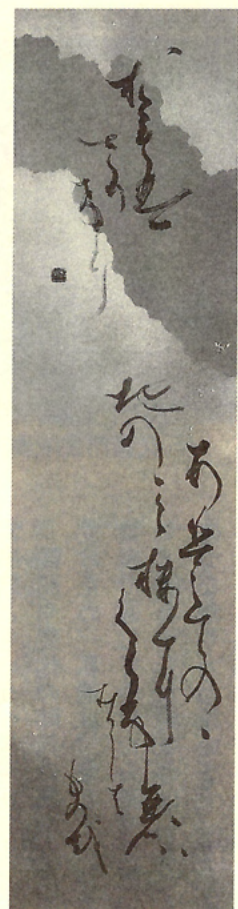
第9回 日展



▶入選 須藤恵里



▶招待 菅谷志水



▶招待 成田寿苑

第50回 日本の書展

「講演会」開催

久喜文化団体連合会 副会長

山本 忠

文化団体連合会の主要行事である視察研修会は、今年度はコロナ禍のため幹事会を中心に講演会を企画し、講師は新井病院院長、関谷 栄先生、テーマは「高齢化社会をかしこく生きる」で、9月4日（日）ふれあいセンター久喜で開催しました。



同世代の私達にはテーマについての関心が高く、また講師の熟達した尺八演奏の披露、質疑応答など、凡そ60名の参加のもと行われ、高齢化、コロナ禍の中での私達の活動に、新たな活力を与えてくれました。

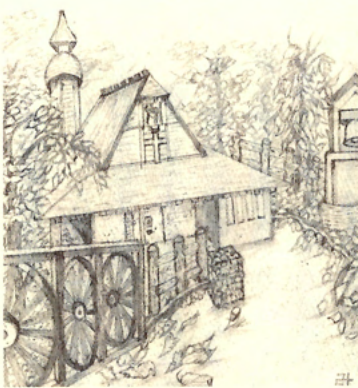
描くを楽しむ

久喜美術協会

岡野 美智代

折に触れ見る風景を前に、これを画面に入れるには、どの様にしたら？と考えながら散歩をしています。コロナ禍の中でしたが、令和4年の展示会は92点の作品が展示され、多くの入場者が来場して下さいました。

毎年の行事として行っている研修旅行は、軽井沢方面で、千住博美術館を見学しました。独特な表現方法の白い水の流れる、勢いと、自然の奥深さを感じ朧月夜の桜はミステリアスで、しばし時を忘れました。おしゃれなレストランの食事も、ワインの味と共に、魅力的です。また楽しい催しを計画しています。皆様の入会を、お待ちしております。



聖パウロ教会

俳句を詠んでみよう

久喜市久喜俳句連盟

小野瀬 宏

最近、テレビの俳句番組の人氣もあつて、俳句に親しみを覚え、興味をもつ人が増えているようです。

日々の暮しの中で出会う木々や花、鳥や虫たち、肌を感じる風、ふと見上げた空の色などに季節の移ろいを感じて「この情景を俳句に詠んでみたい」と思ったことはありませんか。思い立ったが吉日、さっそく一句詠んでみましょう。俳句を作るには二つだけ約束事があります。五七五の十七音でまとめること、季語を一つ入れることです。桜が咲く春は俳句を始めるにはうってつけの季節です。久喜俳句連盟には、俳句を愛し、楽しむ五つの句会があります。

- 万里佳句会 若嶺句会が前身で、平成一九年発足。定例会月三回
- むつき句会 初心者講座受講者で平成十年に発足。定例会月二回
- 柘句会 初心者講座受講者で平成二五年に発足。定例会は月一回
- うの花句会 初心者講座受講者で平成三十年発足。定例会月一回
- よさ恋句会 高齢者大学OBで、令和三年発足。定例会は月一回

民謡の郷を訪ねて

久喜民謡連合会 雄喜会

島辺 政秀

私が民謡を好きになったのは、思い切り大声が出せる事。民謡の歌詞にはその民謡が生まれた風土・匂いが感じられる事。人とひとの関わり、生活感が有ることです。歌詞の内容を肌で感じるには矢張り現地に行くことです。雄喜会で毎年研修旅行をしてきましたが、コロナ禍になり残念ですが三年位行けていません。

感動した主な旅先を北から記載します。道南では追分の江差町・鱈釣唄の亀田半島・函館山。東北では津軽民謡の金木・鯉ヶ沢甚句の鯉ヶ沢温泉。最上川舟唄ではおしんが筏下りした古口・酒田米倉庫。能代舟唄の米代川河口。北陸では五箇山・八尾・山中。関西は安来・出雲。四国の祖谷。九州は日向地方です。



山中温泉こおろぎ橋

お花とこの一年間

久喜市久喜華道連盟

杉村 曉華



お祝いのお花を協力致しました。令和5年10月には展示会実施の予定ですので皆様のご来場をお待ちしております。

松寿千年翠

久喜市茶道連盟

関口 恵美子

コロナ禍の生活も3年目となり少しずつ各種展示会が開かれる様になりました。どの様にすれば展覧会を開く事が出来るか、コロナに対処する方法も学んで来ました。華道連盟も今年こそはと準備して参りましたが、残念ながら諸事情に依り展示会を実施する事が出来ませんでした。そのような中でも会員たちは流派の展示会に出品し活動して来ました。中央公民館にも年間を通してお花を展示させていただいております。

古く五百年以上も続く伝統文化茶道は、茶の湯を大成させた千利休に始まり、沢山の流派が生まれました。久喜市茶道連盟にも、表千家、裏千家、江戸千家そして大和遠州流があります。流派は違えど茶の道のお稽古は同じです。それぞれの社中のお稽古はもちろん、連盟としても、少しでも多くの方にお茶とふれ合う機会を持つて頂けるようにと活動しております。この三年ほどは、コロナ禍のため思うように進まぬ面もありましたが、少しずつ動き始めてきたことに喜びを感じております。

今年の成人式では三回目の添え釜席を設けさせていただきました。また三月には春の茶会を計画し、感染対策の打ち合わせも重ね、実施する運びとなりました。これからも、常に変わらぬ松の緑のように、茶の湯のすばらしさ楽しさが伝わっていくことを願い、連盟一同精進して参ります。



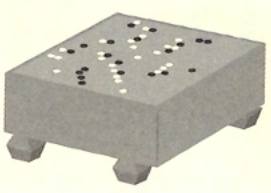
囲碁の魅力

久喜囲碁同好会

羽柴 善安

囲碁は仙人もたしなみ、時に憂いを忘れさせ、言葉無しで人と通じ合い、斧の柄が腐るのにも気づかぬ程人を夢中にさせる。右脳を使うゲームです。八〇歳から囲碁を始め、百歳で三段になった婦人がおります。歳を摂っても上達するのです。囲碁の魅力は①集中力が付く②大局観が出来る③年齢・男女の差なく、よき友を得る。仲邑董(十三歳)はドコモ杯女流棋聖戦の挑戦者となりタイトル奪取に囲碁界注目の的となっています。近年は囲碁ソフトも充実しパソコン、タブレット、スマホ等活用することにより独学でも囲碁を習得できます。飯より大好きになる囲碁を覚え囲碁大会に参加下さい。

本会は年5回大会を行っています。参加者を棋力に応じて四クラスに分け四回戦のハンデキャップ戦を行なっています。過去最多参加者数は女性二〇名を含む百二〇名です。多数の御参加お待ちしております。



三年ぶりの大会開催

久喜市将棋愛好会

河野 建一

昨年十一月、中央公民館にて、実に三年ぶりに、久喜市民将棋大会を開催することができました。毎年、一年間に五回、大会を催してきましたが、ここ三年間はコロナ感染拡大のため、中止を余儀なくされ、つらい思いをしてきました。今回久しぶりに大会を開催できた事は、非常に喜ばしいことです。

久喜の将棋大会は評判が良く、遠方からの参加者も多く、毎回たくさんの方でにぎわっていました。今回の大会は、人数こそ少なめでありましたが、久々に仲間と会い、将棋を十分に楽しんでいただけたのではないかと思います。

対面で対局する将棋ではありませんが、マスクをして声を発することは無く、感染リスクは低いと思います。藤井聡太という若きヒーローに沸く将棋界です。少しでも将棋に興味のある方は、今こそ始めてみませんか。いきなり大会は敷居が高いと思われる方は、毎月第二日曜日午後、中央公民館で自由対局をしていますので、ぜひ覗いてみてください。

盆栽文化

久喜市盆栽会

稲橋 光男

私は、千葉の出身で幼い頃から自然の中で育ちました。祖父や父が、盆栽や庭木の手入れをしている姿を見ていました。久喜市に住み二十五年が経った頃、少ない知人の影響もあり、盆栽と出会い夢中になりました。協会の人と出会い、盆栽のことを教えていただきました。今は、松、桜、椿、けやき、りんご、ゆずを中心として七十鉢ほど育てています。花が咲き、実をつけ、芽を出し、自分が目指す樹形になってくる喜びと夏の暑さ、冬の寒さに適応させてあげられず、樹をだめにしてしまう後悔が生きものを扱う趣味の特徴でしょう。社会や生活の変化からか、盆栽の愛好者が激減し、私、六十三才が久喜市でいちばん若い愛好者です。日本の伝統文化である盆栽の銘樹が中国をはじめとした海外に行き、日本の盆栽は、後継者がいない状態です。文化はリレーですが、バトンを渡すことができない事が残念でなりません。盆栽界でいちばん若い私が「残す」「つなぐ」ことで久喜市の盆栽文化を盛りあげていきます。

吟道は気を養うの道なり(二)

久喜市吟詠剣詩舞連盟

稲毛 昭宏

高齢者にとって自分の時間は貴重です、稽古の間が遠くなり、関心が薄れ意欲の低下することを避けて、今年度もコロナ禍以前に近い状態で活動を進めました。〃やって良かった長生き出来そう〃と好評でした。次年度も続ける予定です。

私達の会で稽古の初めに唱和している吟道精神を平易に意識すると、詩歌を朗々と吟ずることは邪や穢れた心を洗い清め、食べ過ぎたような飽満な状態も程よく整えられ、血の巡りは良くなり気力(心)も満ちてくる、それは右にも左にも偏らない調和のとれた人格を育てていることです、吟道は気を養うの道なのです(孔子)人の生きるのは気です、気が尽きれば死にいたりします。気は養わなければなりません(孟子)。聖賢の教えは尊重すべきです、着実に歩み続け自らの人格を高め、他人に感動と癒しを感じて頂ければ喜びです。世界で賞賛される日本人の国民性は、古代から各分野における先人達の弛まぬ努力の積み重ねで創られたものと感謝で一杯です。

響きあうハーモニ

久喜市合唱連盟

遠藤 厚子

久喜市合唱連盟には、現在八つの合唱団が加盟しています。各団、それぞれの持ち味を生かしつつ、より良い音楽を目指して、日々活動しています。そして、毎年秋に開催する「久喜市合唱祭」で、日頃の練習の成果を発表します。

ここ二年ほどは、新型コロナウイルスの影響で開催することができませんでしたが、マスク着用などの制限付きではありましたが、無事、開催することができました。団員一人ひとりが協調しあい、心をひとつにして音楽を表現する。そして、響きあうハーモニを体感できた時の喜びは、何ものにも代え難いものがあります。また、衣装をつけて舞台上立った時の緊張感は、日常では味わうことのない刺激となります。今年の合唱祭は、四十回の節目を迎えますので、盛大に開催できるところを願っています。歌が好きな方、歌ってみたいと思っている方、一歩踏み出して、私たちと一緒に歌ってみませんか？

手工芸(手芸工芸)展示会

久喜市手工芸同好会

鈴木 美恵子

昨年(3月8日火〜9日水)の2日間中央公民館の、大集会室にて、展示会を開催させて頂きました。出品作品は、ラタン恵(籐工芸、鈴木)ステンド宙(山元)くみひも虹(中島)押し花、押し葉絵(三沢)まくらめ(猪瀬)主として、各講師の作品です。多くの方々がお見えになり、会場が大変、盛り上がりました。又友人や、知人の方々が御友人等お連れして、とても賑やかでした。とても、楽しい時間を過ごさせて頂き、大変有り難うございました。来年も又お越し頂けるよう作品作りをして居ります。皆様方忙しい中本当に有り難うございました。今後共何卒、宜しくお願い致します。



### 今後の書道展について

久喜書道連盟

髙井 則麗

久喜書道連盟は、例年久喜書道展と市展にて年2回の作品発表の機会を作ってきましたが、コロナ禍においては中止及び年1回の開催など状況に応じた書道展に変更してまいりました。今年度以降は、久喜市教育委員会のご理解とご支援を受け「市展」と「久喜書道展」を合同で開催する運びとなり昨年の10月20日から23日までの間久喜総合文化会館にて多くの会員の皆様の作品が展示されました。書道展の初日には、新井病院の関谷栄院長先生に「高齢者社会をかしこく生きる」をテーマとして特別講演を開催致しました。

充実した高齢者生活について、分かりやすくお話しを頂き、さらに先生には、お得意な尺八の演奏をお願いし、有意義な時間を過ごす事が出来ました。

十月の書展に向け会員の皆様の力作をお待ちしております。



### 舞踊発表会に向けて

久喜市舞踊協会

坂東 葵美寿郎

新型コロナウイルスの件で不安な日々を送る事二年余り、イベント等が中止、延期になるなど、せっかくの文化活動が中途半端な状態になってしまいます。私達舞踊協会も発表会の中止を余儀なくされてしまいました。先日、次回の発表会打ち合わせの件で、今度こそ待っていて下さる皆様に楽しんでいただけた舞踊をお見せしましょうと一同堅く決意した次第です。舞踊と一口で云うと堅くもおられる方いますが四〇〇年の歴史を持つ中味の濃いものです。日常からはなれて江戸時代のもの等かつら衣裳を付けてその時代の人になりきって踊る、いいものです。観客の目をくぎづけにしたいところです。その為には普段の稽古が大事。会員一同、一生懸命がんばりますので応援よろしくお願いたします。



### 昨年度の活動について

久喜市民吹奏楽団

重田 正男

昭和57年に設立された当楽団は、今年創団40年を迎えることができました。

昨年に続きコロナウイルスの感染拡大の影響を受け、5月に予定していたコンサートを中止せざるを得ない状況となってしまいました。少しずつ練習を再開することができるようになり、11月に久喜市吹奏楽フェスティバルに参加し、12月に冬のミニコンサートを開催することができました。

当楽団は現在、若いメンバーが中心となって活動していますが、日々成長し、少しでも皆さまの心の潤いになるような音楽を届けられたらと思っています。今年は5月と12月に中央公民館の大集会室にてコンサートを予定しています。

また、一緒に演奏を楽しむ仲間も募集中です。楽器経験のある方ならブランクがあっても大丈夫です。ぜひ一度練習を見学に来てください。



### 歌は健康に良いので楽しんで歌う

久喜市カラオケ連合会

重田 正男

私は幼い頃から歌が大好きで良くラジオから流れていた歌を聞いて居ました。今も大好きです。私は二十年代前にどこかのカラオケ会に入りたくて探して居ましたら、カラオケ連合会に出合い今も楽しんで居ます。御蔭様でいろいろな方と出会う事が出来ました。会長さん始め会員の皆さんと会えた事はとても良かったと思っております。昨年もコロナに明け暮れる一年でした。今年こそ一日も早くコロナが終息する事を願っております。昨年九月の発表会もコロナの影響で出来ませんでした、誠に残念でなりません。昨年の文化祭はなんとか出演出来た事が会員さんに取って大変良かったと思います。感染拡大を恐れ練習も十分に出来ませんでした。本番ではいつもの通り歌えたと思います。会員さんは老後の残り少ない時間を無駄に過ごしたくないと思っております。早く再開出来ますように願っております。最後にカラオケの入会は、老若男女を問わずどなたでもOKです。お待ちしております。お待ちしております。

万年青

和の花会

濱田昌延

オモトは漢字で万年青と書き、めでたい縁起のよい植物として、古くから珍重されてきました。

慶長十一年に徳川家康公がオモトをもつて、江戸城に入城したことから、「引越しオモト」という言葉が生まれたのは有名な話です。

オモトの葉芸は、茶道の詫び、寂びの境地にも通じており、その色彩と葉姿には気品があります。

いつ頃から日本に自生していたかは定かではありませんが、約五百年くらい前より長い年月をかけて育種改良を重ねてきた歴史があります。大きさも小葉から中葉、大葉と様々あり、四季を通じて緑を保ち、美しく生長していくところが醍醐味といえます。

青葉公民館で開催予定の「えびね蘭と野の花展」に、魅力一杯の「オモト」を展示致します。

皆様方のご来場をお待ち致します。



川柳を楽しもう

久喜川柳会

宮本佳則

川柳は日常生活での喜怒哀楽や、発見を詠んだり、時事を風刺したり、文芸性を求めて巧みな表現に凝ったりと、いろいろな楽しみ方があります。

文化祭の「第二十一回久喜川柳大会」には三十一名のご参加をいただき、盛会となりました。

互選による自由の部では、栄えある最高句に、次の句が選ばれました。

挫折して気付く小さな温かさ

岡田 孝道

課題吟「魔法」の会長選「天」「地」

「人」には次の句が選ばれました。

「天」抱きしめて魔法の言葉言つ

た母 高橋 春雄

「地」侍が見たら魔法の令和の世

甲斐 稔彦

「人」シンデレラ靴だけ魔法とか

ぬ知恵 てぼっちよ

例会は毎月第一日曜日の午後1時30分より東公民館で行っています。初心者歓迎。お問い合わせは宮本まで。

久喜・中島敦の会の活動

久喜・中島敦の会

加藤建亜

本年度は、新型コロナウイルスの流行が減少した五月に、中島敦没後八十年記念として、プロの活弁士麻生八咫(あそやた)さんによる中島敦作品の朗読と、当会会長の加藤建亜の講演「中島敦の生涯と作品」を成功裏に開催できました。

久喜市立郷土資料館で十月から、第十二回特別展「敦 中島家の系譜」

中島敦没後80年が開催されました。

また、広報くき十一月号表紙からの、

「久喜地域近代化の礎を築く『中島家の軌跡』特集で、中島敦が大きく

取り上げられました。その中に、当

会会長のインタビューを載せていた

だきました。

秋には、中島敦を紹介するリーフ

レット「中島敦って知ってる？」を、

久喜市教育委員会のご協力で市内の

中学一年生全員にお配りしました。

(十二年目)

来年度は、中島敦をより多くの方に親しんでいただきたく、ゆかりの地見学会や講演会の開催等を考えています。ご参加をお待ちしています。

写真で心豊かな人生を

久喜市写真連盟

青木朗

久喜市写真連盟は発足以来、今年で一七年。文連に加盟している団体の中では、一番新しい団体です。連盟の昨年の活動状況は、撮影会を五月に新緑の日光、十月に南房総、今年の一には三年ぶりに二泊二日で、雪と氷の日光、湯西川、南会津で開催。多くの会員が参加して楽しい時を過ごしました。作品展を九月に四団体(美術、俳句、川柳、写真)で開催。写真展は十一月に市展(写真の部)を開催。この三月には第十六回連盟展を開催します。

写真は今では技術も大きく変わり、誰でも失敗せずに撮影出来る様になりました。

しかし、スマホでは撮れない写真もあります。写真は学ばずには奥深い世界が見えてきます。写真に興味のある方の入会をお待ちしております。

連絡先090-4122-9893

青木まで

**イベントのお知らせ**  
令和5年度上半期事業(4～9月)

【久喜市久喜囲碁同好会】

○春季囲碁大会

4/2(日) 10時～17時

久喜市中央公民館

【久喜民謡連合会】

○第46回春のみんよう大会

4/22(土) 開場10時20分  
開演10時40分

久喜総合文化会館小ホール

【和の花会】

○えびね蘭と野の花展

4/29(土) 10時～16時

4/30(日) 10時～15時

青葉公民館

【久喜市将棋愛好会】

○春季市民将棋大会

4/30(日) 9時～17時

久喜市中央公民館

○夏季市民将棋大会

7/23(日) 9時～17時

久喜市中央公民館

○文化祭市民将棋大会

9/24(日) 9時～17時

久喜市中央公民館

コロナ禍でイベントは  
予告なく中止になる事  
があります。

【久喜市民吹奏楽団】

○春のミニコンサート

5/14(日) 開場13時30分  
開演14時

久喜市中央公民館大集会室



将棋愛好会

久喜市久喜文化団体連合会

事務局 益山 典子 22-1230

団体名	代表者名	電話
久喜美術協会	山本 忠	22-0148
久喜俳句連盟	小野瀬 宏	22-1893
久喜民謡連合会	井上 忠昭	21-3446
久喜市久喜華道連盟	杉村 暁華	22-7543
久喜市茶道連盟	金井 宗喜	22-2909
久喜市久喜囲碁同好会	佐野 均	23-2458
久喜市将棋愛好会	河野 建一	090-2405-8191
久喜盆栽会	黒須 善治	21-1089
久喜市吟詠剣詩舞連盟	稲毛 昭宏	58-4821
久喜市合唱連盟	柿崎 幸子	61-3468
久喜市手工芸同好会	鈴木 美恵子	22-8039
久喜書道連盟	風間 昌光	23-0555
久喜市舞踊協会	新西川 静富士	52-0119
久喜市民吹奏楽団	前田 勝哉	23-8743
久喜市カラオケ連合会	渡辺 優	21-1308
和の花会	濱田 昌延	22-1407
久喜川柳会	宮本 佳則	22-4484
久喜・中島敦の会	加藤 建亜	21-5500
久喜市写真連盟	青木 朗	21-3525



囲碁同好会

編集後記

コロナウイルスの拡大の影響で、  
満足いく活動ができていない状況で  
すが、少しでも皆さまの生活に潤い  
を提供できればと思っています。

荒木 弘行  
前田 紗帆  
山元 志津子  
渡辺 節子

(M)